

3 「学ぶ」ということ

対象学年：2年生（9月実施）

1. 題材：「学ぶことの意義について考える」

内容 （3）学業と進路

ア 学ぶことと働くことの意義の理解

2. 題材について

(1) 生徒の実態

2年生になり、学習への意欲を無くしている生徒、もしくは、目標が見出せないままに学習を続けている生徒が見られることもある。ひとえに、なぜ学ばなければならないのかが、明確に見出せないためといっても過言ではない。よって、学習への集中力の度合いにも個人差が顕著に見られるようなこともある。

そこで、この時期に、漠然とであっても、興味関心ある職業を知ることにより、それに関連した、学習に対して関心をもたせ、生涯にわたる学びへの意識と意欲を身に付けさせたい。

(2) 題材設定の理由

興味関心ある職業に就くためには、どのような進路を選ぶ必要があるのか調べ、その実現のためには、どのような学習を行い、知識を身に付けなければならないのかを、自ら調べることにより、生徒自身がその答えを見出し、学習や活動に意欲的に取り組むとともに、将来の社会的自立や職業的自立に資するためにこの題材を設定した。

3. 指導のねらい

将来の職業を見据えて、必要な知識を得るために、何を「学ぶ」必要があるのかを認識し、学級や班の仲間と意見交換をする中で、現在の学びの必要性と、人は生涯学び続けるという生涯学習の意識と意欲を身に付ける。

4. 学級活動（3）の評価規準

集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団や社会の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
人間としての生き方や学ぶこと 働くことなどに関心をもち、自 己のよさを伸ばしながら、自主 的自律的に日常の生活や学習に 取り組もうとしている。	自己の将来に希望を抱き、その 実現に向け、現在の生活や学習 を振り返り、これからの自己の 生き方などについて考え、判断 し、実践している。	学ぶことと働くことの意義や、 自己の能力や適性、進路選択に 必要な情報収集や将来設計の仕 方などについて理解している。

5. 指導の過程

(1) 事前の指導と生徒の活動

【ワークシート1】 自分発見・・・仕事発見・・・何を学ぶか発見シートの1～3の
うち、自分の考え、家族の考えを書き出しておく。

(2) 本時の指導と生徒の活動

- ① 本時の活動テーマ 「なぜ人は学ぶのか」
- ② 本時のねらい 「学ぶこと」の意義について、具体的な職業を絞った中で、何を学ばなければならないのかを友だちと意見交換をしながら認識する。

(3) 事前の準備

- ① 学校図書教材の活用
 - ・「13歳のハローワーク」をもとに13の分野にあらかじめ分けておく。
- ② ウェブサイトの活用
 - ・「13歳のハローワーク」「あしたね」「未来の仕事をさがせ」を使用。
 (引用 「13歳のハローワーク」 URL <http://www.13hw.com/home/index.html>
 「あしたね」 URL <https://ashitane.edutown.jp/>
 「未来の仕事をさがせ」 URL <https://kids.gakken.co.jp/shinro/shigoto>)

③本時の展開

	活動の内容	指導上の留意点	目指す生徒の姿と評価方法
活動の開始 15分	1 本時の活動の流れについて説明を聞く。 2 隣どうして【ワークシート1】「学ぶということ」の意見交換を行う。	・本時の活動の流れを説明する。 <本時の活動の流れ> 1. 【ワークシート1】の友達の意見を聞く。 2. 職業を絞る。 3. その職業に関して、調べる。 4. 学ぶ内容を知る。	
活動の展開 25分	3 【ワークシート2】「各年代で学ぶ場所、学ぶこと、学ぶ目的を整理してみよう」の学ぶ場所、学ぶこと、学ぶ目的を整理する。「学ぶ」ということについて班で話し合う。 4 学級で各班の代表が発表する。 5 【ワークシート2】「各学年で学ぶ場所、学ぶこと、学ぶ目的を整理してみよう」を再度班で検討する。その際、他班の意見も参考にして、【ワークシート2】を完成する。	・【ワークシート1】で行った、どんな勉強が必要かを軸に、【ワークシート2】を完成させる。その際、班内で意見交換しながら行わせる。 ・人生のそれぞれの年代での学びとは何かを考えさせる。 ・【ワークシート2】を実物投影機で投影して、視覚的にも情報を共有させる。	(予想される生徒の反応) 学校や進学、テストのためなど現在の自分の学習目的や場所を書いている。 【関心・意欲・態度】 ・シートへの記入に積極的に取り組んでいる。 [ワークシート] (予想される生徒の反応) 《中学時代：学校で学ぶこと》 学習・集団生活のマナー・人間関係 《中学時代：学校で学ぶ目的》 基礎基本の定着、確かな学力を身に付ける。 《中学時代：家庭で学ぶこと》 家庭の役割、基本的な生活習慣

		机間指導していく。	《中学時代：家庭で学ぶ目的》 家族が幸せに暮らしていくために、自分の役割を果たせるようにする。
活動のまとめ 10分	6 人は一生学んでいくものであるという考えに立って、【ワークシート3】「人は何のために学ぶのでしょうか、またなぜ・・・」を完成させる。	・各年代の具体的な学ぶ目的のみならず、人は生涯あらゆる場面、あらゆる物事から学べる。学ばなくてはならないことを意識させる。 ・人の一生は学ぶことという考えを持たせる。	【思考・判断・実践】 ・人は生涯学ぶものであり、学ぶから人であるという考えを持っている。 【ワークシート3】

6. 本題材の工夫例（2時間扱いとして考えた場合の2時間目）

人は何のために学ぶのか、なぜ学ばなければならないのかについて、ワークシート3の「様々な人々の学び」から考え、自分の意見を持つことができる。

そこで2時間目では、班活動として、様々な立場の考え方に触れる機会を設定し、多面的・多角的に物事をとらえ、「学び」についてより考えを深化する事ができるようにした。その際に、今後行われる職場体験活動の中で、具体的に何を学ぶことができるかを考え、将来にわたって様々な場面で学ぶことができることを意識させ、社会的自立や職業的自立に資することをねらいとした。

	活動の内容	指導上の留意点	目指す生徒の姿と 評価方法
活動の開始 10分	1 【ワークシート1～3】で各自がまとめた意見、感想を学級で何人かが発表し、前時を振り返る。	・人は生涯学んでいくものという考えに立ち、そうした考えに導けるよう指導する。	【関心・意欲・態度】 ・自らの意見を積極的に発表しようとしている。 〔観察〕 〔ワークシート〕
活動の展開 20分	2 【ワークシート3】に関して各班で内容を発表し、疑問点などを質問し合うことで、学ぶことに関して、より深く考えをまとめる。	・班の意見感想を共有することにより、自分の意見へさらに深化をはかり、学ぶことへの大切さを認識する。 ・各人の学ぶことをまとめて、発表できるように、意見交換を行わせる。	（予想される生徒の反応）「人は自らが生きていくために学ばなければならない」「人は常に学び続ける存在だから」「学び続けることにより、社会に貢献できるから」「学ぶことにより自分を高め、他者も幸福にすることができるから」

			<p>【思考・判断・実践】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他者の意見も取り入れて最終的に自分の意見、感想を深化させている。 <p>【観察】</p>
活動のまとめ 20分	3 職場体験活動を通して何を学びたいかを考えて、学級で発表する。	<ul style="list-style-type: none"> ・友人関係などの理由で職場を選ぶのではなく、中学時代の学びとして、考えさせる。そのため今、具体的に取り組むべきことについて考えさせる。 	<p>【知識・理解】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生きることは学ぶことであり、働くことは学ぶことであるという理解に立って、職場体験活動を考えている。 <p>【観察】</p>

26日(金)の授業で使用します。自分で考える・お家の方にも聞いてみる、を事前に埋めて下さい。

ワークシート①

自分発見…仕事発見…何を学ぶか発見シート



1:自分の良いところはなんだろう？それぞれ書き入れよう。

自分で考える きちょうめん	お家の方にも聞いてみる 人に優しい、素直
友達に聞いてみる おもしろい 優しい いつも笑っている でもちがうと変	

2:自分の個性、自分らしさとは何だろう？それぞれ書き入れよう。

自分の個性とは？ たまにバカになる所	お家の方にも聞いてみる。 優しい
友達に聞いてみる。 案外 ちがうと 言われてる 面白い ちがう	



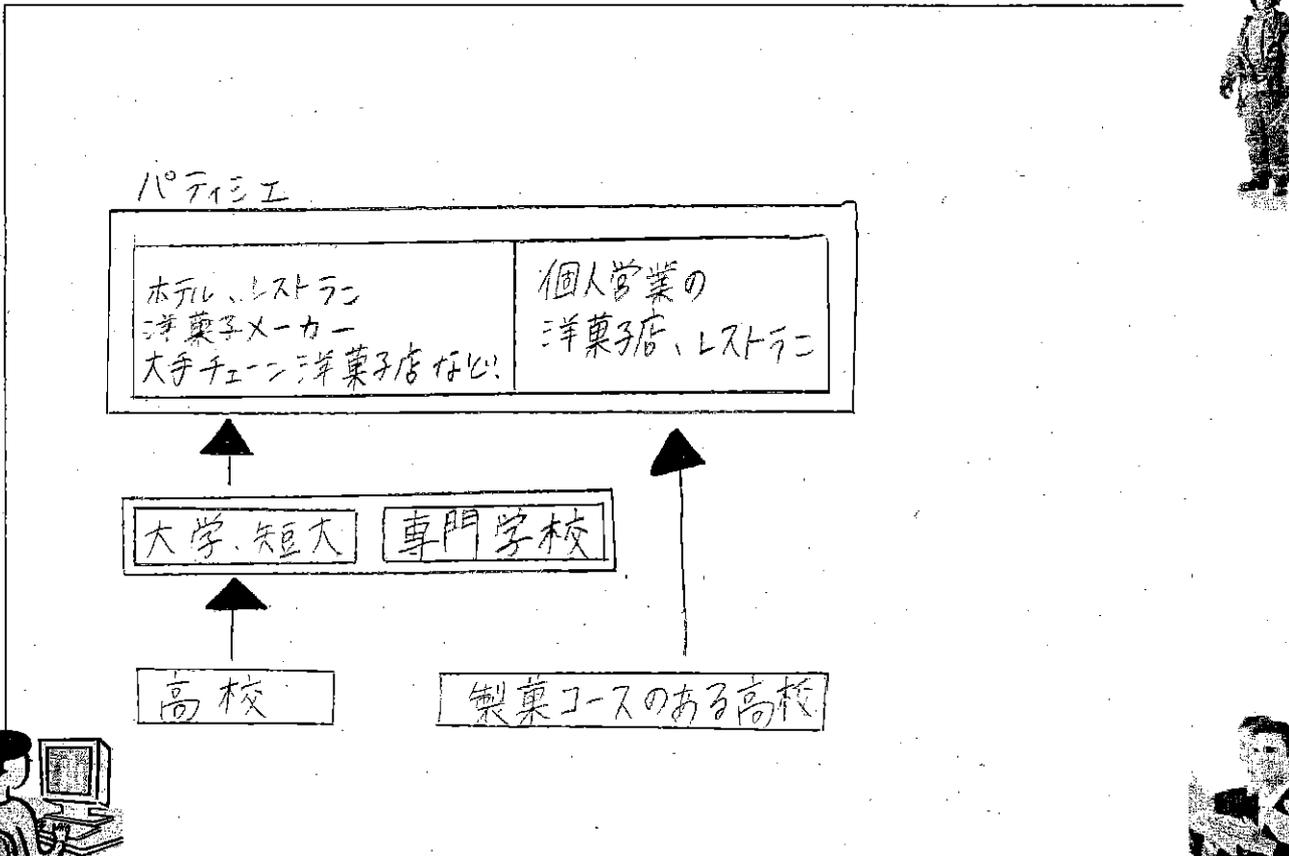
3:自分の弱点とは？

自分の弱点とは？ 人見知り、消極的	お家の方にも聞いてみる。 心配性
友達に聞いている。 泣き虫、かみのけ	

4:自分が将来やってみしたいこと。1~3の内容から適した職業を、考えてみよう。

パティシエ

5:調べ学習:「なりたい職業につくまでの道のり」将来の為にどのような準備が必要か？どんな勉強をすればいいの？学校は？資格や訓練は？パソコンを使って調べてみよう。その結果を書きます。



各年代で学ぶ場所、学ぶこと学ぶ目的を整理してみよう

		場所	学ぶこと	学ぶ目的
中学時代	自分の考え	・中学校 ・家 ・習い事(塾)	・勉強 ・友人関係 ・手伝い ・常識 ・マナー ・思いやり ・人間関係 ・生活	・良い高校に行きたいから。
	友達の考え	・中学校 ・塾 ・家	・勉強 ・マナー ・人間関係 ・思いやり	・ちゃんとした大人になるため。 ・良い人生を送るため。 ・良い高校に行くため。
高校・大学時代	自分の考え	・高校 ・大学 ・家	・勉強 ・常識 ・手伝い ・マナー ・人間関係 ・スツツクリ ・料理つくり	・やりたい職業につけるように(バイト) ・職業についた時に困らないように。 ・いい大学に行きたいから。
	友達の考え	・塾	・生活 ・人間関係 ・勉強 ・マナー	・良い人生を送りたい。 ・良い大学に行きたい。
社会人時代	自分の考え	・家 ・会社	・人間関係 ・勉強 ・常識	・職業についた時に困らないように。 ・人間関係で困らないように。
	友達の考え	・仕事場 ・家	・人生の大変さ ・お金のありがたさ ・人間性	・良い人生を送りたい。
老後	自分の考え	・家 ・老人ホーム	・命の大切さ ・食べること	・長生きするため。
	友達の考え	・老人ホーム	・食事	・生きるために

ワークシート3 様々な人々の学び

「人は、何のために学ぶのか」「なぜ、学ばなければならないのか」と考えたことはありますか？なかなか直ぐには結論の出ない、誰しもが悩んでしまう質問ですね。

皆さんの保護者をはじめ、家族、地域の方、卒業生、先生方も悩んできたことです。様々な人たちがどんな場所でどんなことを学んだか、どんな目的で学んだか、聞いてみましょう。

資料：さまざまな人々の学び

<消防士 A さん>

私は、現在消防士をしています。消防士になるには、^{ぜんりょうせい}全寮制の消防学校を卒業しなければなりません。中学時代には具体的に消防の仕事をしようとは考えていませんでした。職業の進路決定は高校三年生の時に決断しました。ただ、中学生のときから、しっかりと自分の目に見える形で、人を助ける仕事をしたと思っていました。中学時代の学びで、現在も役になっていることは沢山あります。義務教育で学ぶ基礎的な知識は絶対必要です。また、部活動の顧問の先生にきちんと挨拶や礼儀、規律、整理整頓など、基本的な生活習慣を教えていただいたことは役に立ちました。



<保育士 B さん>

今私は、保育士をしています。保育士になるには、都道府県の行う保育士試験に合格する必要があります。保育士を目指したきっかけですが、中学2年生のときに、保育園に職場体験学習をさせていただいたことです。高校も将来保育士になることを考えて決めました。保育士に必要な知識は、試験に合格すればすべて得られるというものではありません。まだまだ、毎日が勉強です。先輩保育士や保護者の方、時には子供たちにも教えられています。忙しい毎日ですが、充実しています。

<化学企業に勤める C さん>

私は現在化学企業の研究員をしています。中学・高校時代からどちらかというと数学、理科が得意で、大学も理系を選びました。大学院に進み、好きな化学の研究を続け、教授の^{すけい}薦めもあり、今の会社に入社しました。

科学分野は^{にっしんげつぽ}日進月歩で、入社してからも、毎日の勉強が^{おこた}怠れません。また海外の研究論文も読まなければ成ら



ないので、外国人研究者とのコミュニケーションも英語力が必要です。退勤後は、週2回英会話学校に通っています。

人は何の為に学ぶのでしょうか？また、なぜ学ばなければならないのでしょうか？あなたの意見、考えを書いてみよう。

- ・将来、1人でも生きていけるように。
- ・人間関係を悪くしないように。
- ・将来、やりたい自分にたれるように。
- ・社会に出た時に、困らぬように。

7. 本時に利用したワークシート

【ワークシート1】

自分発見・・・仕事発見・・・何を学ぶか発見シート

1：自分の良いところは何だろう？それぞれ書き入れよう。

自分で考える	お家の方にも聞いてみる
友達に聞いてみる	

2：自分の個性、自分らしさとは何だろう？それぞれ書き入れよう。

自分の個性とは？	お家の方にも聞いてみる
友達に聞いてみる	

3：自分の弱点は何だろう？それぞれ書き入れよう。

自分の弱点とは？	お家の方にも聞いてみる
友達に聞いてみる	

4：自分が将来やってみたいこと。1～3の内容から適した職業を、考えてみよう。

--

5：調べ学習：「なりたい職業につくまでの道のり」

将来のためにどのような準備が必要か？どんな勉強をすればいいのだろう。学校は？

資格や訓練は？

パソコンを使って調べてみよう。

--

【ワークシート2】

年 組 番 氏名 _____

各年代で学ぶ場所、学ぶこと学ぶ目的を整理してみよう

		場所	学ぶことなど	学ぶ目的
中学時代	自分の考え	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校 ・家 ・習い事（塾） など 	<ul style="list-style-type: none"> ・勉強 ・友人関係 ・人間関係・手伝い ・常識 ・マナー・思いやり ・生活 など 	
	友達の考え			
高校・大学時代	自分の考え			
	友達の考え			
社会人時代	自分の考え			
	友達の考え			
老後	自分の考え			
	友達の考え			

「人は、何のために学ぶのか」「なぜ、学ばなければならないのか」と考えたことはありますか？
なかなかすぐには結論の出ない、誰しもが悩んでしまう質問ですね。

皆さんの保護者をはじめ、家族、地域の方、卒業生、先生方も悩んできたことです。様々な人たちがどんな場所でどんなことを学んだか、どんな目的で学んだか、聞いてみましょう。

<消防士Aさん>

私は、現在消防士をしています。消防士になるには、全寮制^{ぜんりょうせい}の消防学校を卒業しなければなりません。中学時代には具体的に消防の仕事をしようとは考えていませんでした。職業の進路決定は高校三年生の時に決断しました。ただ、中学生のときから、しっかりと自分の目に見える形で、人を助ける仕事をしたいと思っていました。中学時代の学びで、現在も役に立っていることは沢山あります。義務教育で学ぶ基礎的な知識は絶対必要です。また、部活動の顧問の先生にきちんと挨拶や礼儀、規律、整理整頓など、基本的な生活習慣を教えてくださいました。役には立ちました。

<保育士Bさん>

今私は、保育士をしています。保育士になるには、都道府県の行う保育士試験に合格することが必要です。保育士を目指したきっかけですが、中学2年生のときに、保育園に職場体験をさせていただいたことです。高校も将来保育士になることを考えて決めました。保育士に必要な知識は、試験に合格すればすべて得られるというものではありません。まだまだ、毎日が勉強です。先輩保育士や保護者の方、時には子どもたちにも教えられています。忙しい毎日ですが、充実しています。

<化学企業に勤めるCさん>

私は現在化学企業の研究員をしています。中学・高校時代からどちらかというと数学、理科が得意で、大学も理系を選びました。大学院に進み、好きな化学の研究を続け、教授の薦め^{すす}もあり、今の会社に入社しました。科学分野は日進月歩^{にっしんげつぽ}で、入社してからも、毎日の勉強が欠かせません。また海外の研究論文も読まなければならないので、外国人研究者とのコミュニケーションの手段として英語力が必要です。退勤後は、週2回英会話学校に通っています。

○人は何のために学ぶのでしょうか？また、なぜ学ばなければならないのでしょうか？

<hr/> <hr/> <hr/> <hr/>
